



ペットボトルロケット大会

横浜市港北区青少年指導員協議会 会長 石井 一也

港北区独自の取組として、毎年夏の終わりに開催する「ペットボトルロケット大会」に、特に力を入れて取り組んでいます。

リサイクル等の環境問題について子ども達に考えてもらうきっかけとして始めたものですが、今回で18回目を迎え、いまでは参加者280名、来場者650名を超える大会となっています。

「飛距離部門」と「デザイン部門」の2部門があり、「飛距離部門」では、子ども達は皆、決められた規格の中で、できるだけ遠くまで飛ぶようと、一生懸命にロケットを製作します。ロケットが発射される瞬間の迫力やペットボトルロケットが天高く舞い上がる様子は見ごたえ十分です。遠くへ飛んだ時の嬉しそうな顔を見るとこちらまで楽しい気持ちになります。

「デザイン部門」では、ペットボトルを色とりどりに着飾ります。今回は「ふなっしー」や「アナと雪の女王」をモチーフにしたデザインもありました。

昨夏公開された映画「宇宙兄弟」の中で、子どもの頃にペットボトルロケット大会に参加したことが、兄弟が宇宙飛行士を目指すきっかけになったと描かれました。映画製作の過程で、製作会社から取材を受け、「港北区」のペットボトルロケット大会が映画「宇宙兄弟」のモデルになったことも自慢です。

これからもペットボトルロケット大会が、区民の親睦や地域連帯意識の高揚、家族のふれあいを深める場となるよう、そしてなにより子ども達の嬉しそうな顔を見られるよう頑張ります。



ペットボトルロケット大会の様子



青少年センターまつり

大和市青少年指導員連絡協議会 会長 橋本 正彦



センターまつり受付の様子

大和市青少年指導員連絡協議会は、大和市並びに市教育委員会との協賛事業である「5月：大和市民まつり」、「7月：親子ナイトウォークラリー」、「12月：青少年センターまつり」の三大イベントを基軸に、更に市内12地区において自治会あるいは関連各諸団体の皆様と共に、各種の“ふれあいの場”を企画運営して地域の活性化と子どもたちの健全な育成の一助とすべく、一年を通してほぼ休みなく活動を続けています。いろいろな活動の中から今回は「青少年センターまつり」を紹介します。

昨年12月7日(日)、大和市青少年センターで第19回青少年センターまつりが開催されました。当センターを拠点として活動している青少年団体が日頃の成果を発表するとともに、団体相互のふれあいや情報交換の場とすることを目的にしたおまつりです。

私たち青少年指導員連絡協議会の団体育成部会は、市内の各中学校に呼びかけを行い中学生ボランティア(中ボラ)を募集し、34名の参加を得て「子ども部会」を立ち上げて2ヶ月前から準備をすすめてまいりました。当日の催し物の立案および実行はすべて中ボラの諸君が担い、私たち青少年指導員はあくまでも中ボラの指導・育成を主眼として裏方に徹しました。

当日は晴天にも恵まれて、中ボラ諸君の企画した「お化け屋敷」などは約1000名の来館者を迎えて大盛況でした。中ボラの年次交代は避けて通れない課題ですがこの様なイベントを介し、更なる輪が広がることを祈念しています。